

日本語学会第158回大会ワークショップ[W2-2], 予稿集 pp.393-398.  
2019年6月23日, 一橋大学

# 感情感覚形容詞の 構文間ネットワーク

井本 亮



## 構成

1. はじめに
2. 感情感覚形容詞の用法と構文間ネットワーク
3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク
4. 感情感覚形容詞の連用修飾用法
5. 感情感覚形容詞の述部用法
6. 感情感覚形容詞の構文・用法間ネットワーク
7. 話者読みの成立
8. 今後の課題と論点

2

## 1. はじめに

- 本発表の構文
  - ①スキーマ抽出と事例の具現化によって構文(間)ネットワークを構成し、②動的な拡張・創発の基盤となる
  - 日本語の記述的研究の知見を構文文法の枠組みで捉え直そうとするもの。構文理論志向的ではない
- 本発表の立ち位置
  - 感情感覚形容詞の連用(副詞的)修飾用法について、連用修飾の観点から検討
  - 形容詞分類からの分析との相互補完的アプローチ

3

## 1. はじめに

- 本発表のキーとなる現象と論点
  - (3a) 涼しい風が**心地よく**吹く。
    - 【話者が認識する感覚を参照して情態修飾する事例】
  - (3b) 涼しい風が**心地よく**吹く。
    - ⇨ 涼しい風が吹いて、**心地よい**。
    - 【連用修飾用法と述部用法の間で交替する事例】
  - (3c) 構文ネットワークアプローチによる形容詞連用修飾分析の提案

4

## 2. 感情感覚形容詞の用法と構文間ネットワーク

- 述部用法**
- (4) 涼しい風が吹くのを感じて、**心地よい**。
  - (5) 涼しい風が吹いて、**心地よい**。

- 連用用法**
- (6) 夏子が**心地よく**昼寝する。
  - (7) 涼しい風が**心地よく**吹く。

- 連体用法**
- (8) 涼しく**心地よい**風が吹く。

5

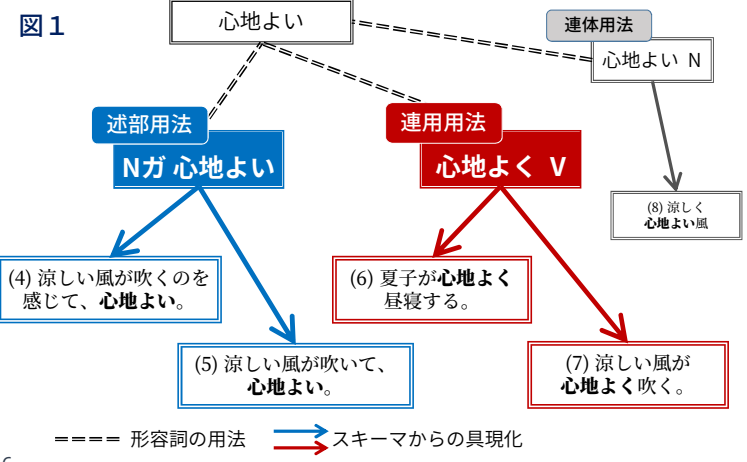
## 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク

- (9) 帽子を**軽く**叩く。
  - ウゴキ > [勢い] > [軽] (様態読み)
- (10) 帽子を**軽く**作る。
  - 産物モノ > [重さ] > [軽] (産物結果読み)
- (11) メレンゲと小麦粉を**軽く**混ぜる。
  - コトの [完遂性] & [ウゴキのサマ] > [軽]
- (12) 彼は冷蔵庫もひとりで**軽く**運ぶ。
  - コトの [難易度] & [評価] > [軽]

- 多様な意味領域のサマを [軽] という値に定める
- 「軽く」が“何副詞か”というのは成分単独では未確定

7

## 2. 感情感覚形容詞の用法と構文間ネットワーク



6

## 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク

- (13) 風船を**大きく**ふくらませる。
  - モノ > [空間量] [結果] > [大] (結果構文読み)
- (14) 船が**大きく**揺れる。
  - ウゴキ > [空間量] [継続] > [大] (様態副詞読み)
- 形容詞連用修飾では被修飾成分 (動詞句) の多様性に由来する**読みの多様性**と、
- 動詞句の事象に含まれる多種多様な意味領域を詳述するという**機能の共通性**が認められる

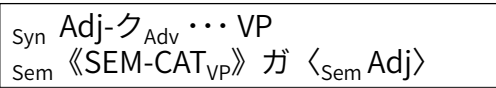
8

### 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク

(15)連用修飾成分の詳述指定機能 (井本(印刷中))

- 連用修飾関係には動詞述語文が表す事象に含まれる意味概念を連用修飾成分が表わすサマ・程度に特定する機能がある | 「**詳述指定機能**」
- 詳述指定の対象(「詳述対象」)は詳述指定する連用形形容詞の意味の上位概念にあたる意味領域(意味範疇: SEM-CAT)である

(17) 形容詞連用修飾構文のスキーマ (井本2018a)



### 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク

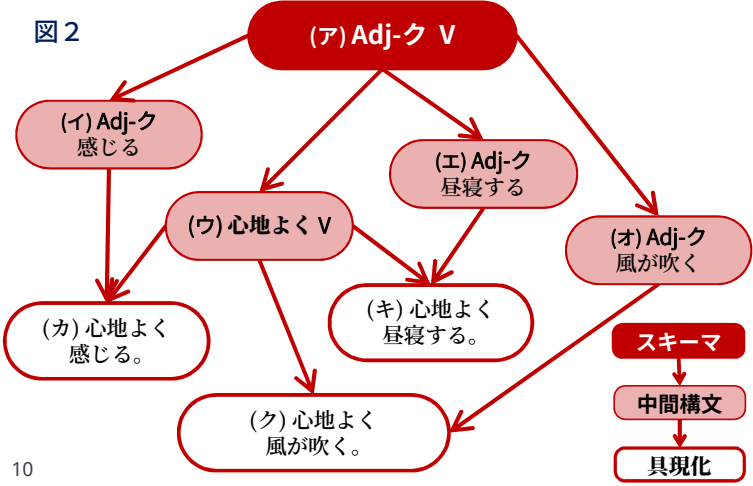
(18) 肉料理を**おいしく**撮る方法 (ウェブサイト)

- チーズも**小さく**入っていて美味しそう (NWJC)
- 青く**つながれ (サッカー-日本代表応援コピー)
- 小さく**運んで**大きく**開く (収納用品メーカー広告)

- 広告コピーなどに見られる創発的な事例
  - スキーマを共有しているからこそその創発
- スキーマと具現化の構文ネットワークは感情感覚形容詞の現象とは独立して必要

### 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク

図2



### 4.1. 動作主読み

- (19) a. ツナサンドを**おいしく**食べた。
- b. 部下の報告を**頼もしく**聞いた。
- c. 最新作の長編小説を**面白く**読んだ。
- d. 母校の校舎を**懐かしく**眺めた。

- 主節のデキゴトによって喚起された動作主の感情感覚を表す情態修飾関係
  - ドラガナ2005, 宮腰2009, 劉2012, 永谷2015, 村上2017, 松岡2017 など

## 4.2. 話者読み

- (20) a. 古びた看板が寂しく立っていた。  
 b. 枯れ木が寂しく立っている。  
 c. 運命に翻弄されるヒロインを悲しく演じた。  
 d. 女将が寂しく笑った。  
 f. 涼しい風が心地よく吹いている。

【訂正】 e. 「恨めしく見上げた」は動作主読み

- 感情感覚の認識者は話者 (村上2017)

【修正】 意味解釈→「読み」・構文形式→「タイプ」に整理

13

## 4.2. 話者読み

- 連用修飾の読み(・用法)については既存の分類や知見を所与のものとして受け入れるに留まる

Q. 話者読みとはどういう読みなのか?

Q. なぜ話者の感情感覚をもって情態修飾できるのか?

- 形容詞分類からの分析は必要・有効
  - ただし、形容詞分類からは届かない問いが感情感覚形容詞の連用修飾の現象には残っている
  - 連用修飾の機能、構文・用法間の関係などの問題については**形容詞研究と並行して補完的なアプローチを進めていく必要がある**

15

## 4.2. 話者読みと一般読み

- (20) a. 古びた看板が寂しく立っていた。

- 「寂しい」に語彙的にコード化されている語義としてのサマ「**一般読み**」 (永谷2015「外面的様子」)
  - 動作主読み / 話者・一般読みの対立
- 永谷、村上 | 形容詞の特徴から連用修飾の適否・可否を説明するアプローチ
  - 従来の連用修飾研究では不十分だった論点
  - 永谷2015 | 形容詞B「うれしい」タイプ
    - 感情主体の感情と名詞句の超時的属性の両方を表し得るため、内面的様子(本発表「動作主認識」)も外面的様子も表せる
  - ※ 永谷氏 (p.c.) | 「心地よい」は形容詞B

14

## 4.3. 評価注釈成分

- (23) a. **珍しく**会社の飲み会に参加した。  
 b. **めでたく**月刊誌に連載が決まった。  
 c. **あっけなく**犯人が捕まった。

- (24) 文の叙述内容に対する話し手の評価を表す、先行する独立成分 (工藤2016 : 62)

- A) デキゴトに内在しないサマを参照する
- B) デキゴトに内在する意味領域を詳述指定しない
- 話者読みとA)を共有し、B)を共有しない

16

### 4.3. 評価注釈成分

- 船が**大きく**揺れる。情態修飾
- **珍しく**飲み会に参加する。評価注釈成分
- 風が**心地よく**吹く。感情感覚話者読み
  - デキゴト内に内在しない話者の感情感覚を参照してデキゴトに内在する意味領域を詳述指定する

修飾関係のタイプ	情態修飾	感情感覚話者読み	評価注釈成分
修飾成分の意味	デキゴト内在	デキゴト外在	
詳述対象*	デキゴト内在の意味領域		デキゴト全体*

17

### 5. 感情感覚形容詞の述部用法

- 5.1.対象事態タイプ
  - (25) a. 着物を**着られて**、うれしかった。
  - b. 太郎に**だまされて**、悔しかった。
  - 前件の**出来事** [着物を着られること・太郎にだまされること] が感情感覚の対象 [感情感覚を喚起するもの] であるタイプ (村上2017: 121)
- 5.2.対象認識タイプ
  - (26) a. 合格したと**聞いて**、うれしかった。
  - b. 京都弁を**聞いて**、懐かしかった。
  - 前件の動詞が感情の対象を認識・**受容する段階の動作**を表し、認識した内容が感情の対象 [感情感覚を喚起するもの] であるタイプ (ibid.: 122)

18

### 6.1. 述部／連用修飾の交替

- (27) a. 涼しい風が吹くのを感じて、**心地よかった**。
  - 述部 | 対象認識タイプ
- d. ⇨ 涼しい風が吹くのを**心地よく**感じた。
  - 認識動詞構文補語 | 動作主読み
- b. 涼しい風が吹いて、**心地よかった**。
  - 述部 | 対象事態タイプ
- c. ⇨ 涼しい風が、**心地よく**吹いた。
  - 連用 | 話者読み
- 述部用法(対象認識・対象事態)と連用用法(動作主読み・話者読み)が**用法間で交替できる事例**

19

### 6.1. 述部／連用修飾の交替

- (28) a. 古びた看板が立っているのを見て、**寂しかった**。
  - 述部 | 対象認識タイプ
- d. ⇨ 古びた看板が立っているのを**寂しく**感じた。
  - 認識動詞構文補語 | 動作主読み
- b. 古びた看板が立っていて、**寂しかった**。
  - 述部 | 対象事態タイプ
- c. ⇨ 古びた看板が**寂しく**立っていた。
  - 連用 | 話者読み
- 述部用法(対象認識・対象事態)と連用用法(動作主読み・話者読み)が**用法間で交替できる事例**

20

## 6.1. 述部／連用修飾の交替

- 夏子が**速く**走った。  
×⇒夏子が走って、**速かった**。
- 壁を**赤く**塗った。  
×⇒壁を塗って、**赤かった**。
- 様態副詞読みや結果構文読みでは起こりにくい  
□ cf. 桜が咲いて、美しかった。⇒桜が美しく咲いた。
- 冬実が**珍しく**飲み会に参加した。  
⇒冬実が飲み会に参加して、**珍しかった**。
- 評価注釈は可能

21

## 6.2. 感情感覚形容詞連用修飾構文間ネットワーク

- 感情感覚形容詞の特徴
  - A) 述部と連用修飾が用法間で交替する事例がある
  - B) 述部／連用間で人称制約を継承する事例がある
- ここまでの議論と観察から
  - 感情感覚形容詞の連用用法(図1)と形容詞連用修飾の中間構文(図2)は「**心地よくV**」として重なる
    - 形容詞の用法は構文間ネットワークをなす
    - 連用用法は形容詞連用修飾の構文ネットワーク(図1)の具現化の一事例である

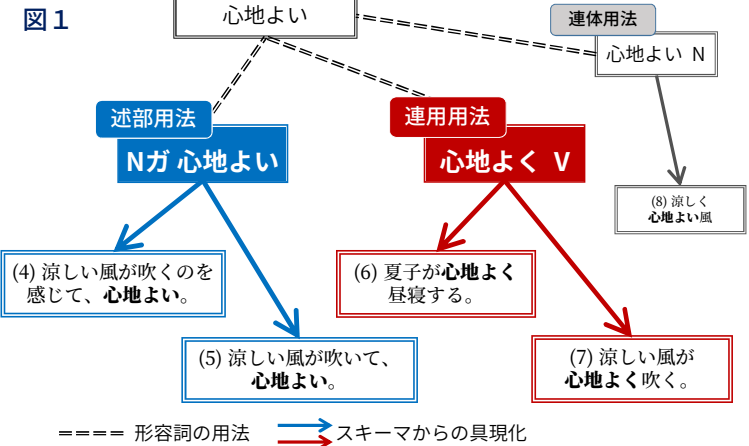
23

## 6.1. 人称制約の継承

- 一人称
  - (29) a. (私は) 母からの手紙を読んで、  
{うれしかった/?うれしそうだった}。
  - b. (私は) 母からの手紙を  
{うれしく/?うれしそうに} 読んだ。
- 二人称
  - (30) a. あなたは、母からの手紙を読んで、  
{\*うれしかった/うれしそうだった}。
  - b. あなたは、母からの手紙を  
{\*うれしく/うれしそうに} 読んだ。
- 人称制限は述語用法にも副詞的用法にも認められる。  
(村上2017: 208-209)

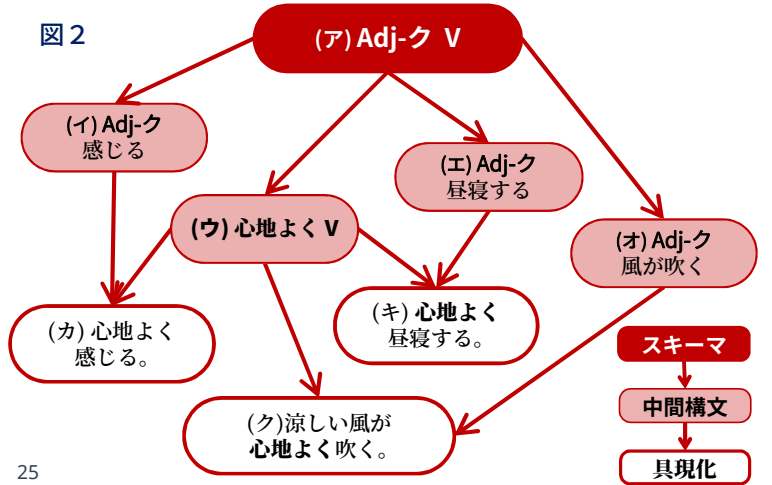
22 【訂正】 予稿集p.397(31)a. 「??うれしそうだった」(「??」を削除)

## 2. 感情感覚形容詞の用法と構文間ネットワーク

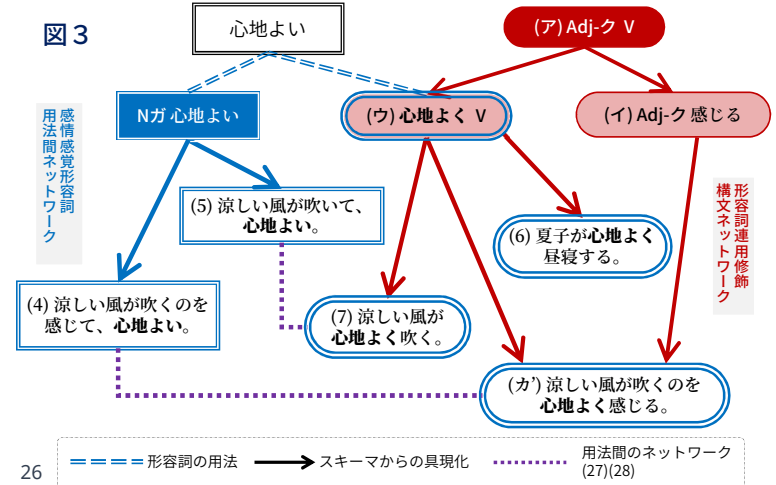


24

### 3. 形容詞連用修飾の構文ネットワーク



### 6.2. 用法間・構文間ネットワーク



### 7. 話者読みの成立

- (33) 話者読み
- “**デキゴトに内在する意味領域のサマが**  
**〈話者に喚起された感情感覚〉である”** サマ
- A) 連用形形容詞 | デキゴト内在の意味領域に対する 詳述指定機能を担う
  - B) 感情感覚形容詞 | (デキゴトによって)話者に喚起した感情感覚を表す
- ☞ A)とB)の構成的・複合的・合成的な読み
- ☐ 有機的なネットワーク構成による読みの成立
  - ☐ 主体化(subjectification: 認識者・概念化者による事態の主観的把握)の関与の可能性
- 27

### 8. 今後の課題と論点

- ☐ 形容詞分類からの検証と現象の精査
    - 感情感覚形容詞がつねに用法間交替できるわけではない
      - ☐ ?/# 女将が笑って、寂しかった。
    - 話者読みも創発的事例の可能性がある
      - ☐ A-ソウダ/A-ソウニとの拡張関係
  - ☐ 主体化の関与
    - 述部 ⇄ 連用修飾の交替は(おそらく)感情感覚形容詞に限定的な現象。これを可能にする要因・基盤を考える必要があり、主体化の関与についてさらに検討する
    - 話者読み／一般読みの連続性 | 主体化の度合い
  - ☐ 述定／連用装定、連用成分の職能
    - 国語構文論の洞察への再照射
- 28

### 8. 井本発表のまとめ

- I. 形容詞の各用法を構文間ネットワークとして捉える
- II. 形容詞連用修飾の読みの多様性と機能的共通性は構文ネットワークによって捉えられる
- III. 感情感覚形容詞には述部／連用の交替や人称制約の継承などの特徴的な事例が見られる
- IV. 感情感覚形容詞の連用修飾用法・話者読みは感情感覚形容詞と連用修飾構文によって得られる複合的な読みであり、構文(間)ネットワークによる分析が必要である
- V. 現象の精査、主体化の関与、連用装定・連用の職能の再検討など連用修飾研究の論点に多角的に取り組むことが求められる

### [補足] 6.2. 話者読みが拡張である可能性

